

# 第3章 県における男女共同参画の取組

## 1 主な男女共同参画施策

### 基本目標1 あらゆる分野における女性の活躍の推進

(令和元年9月末現在)

重点分野1 社会における政策・方針決定過程への女性の参画拡大				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(1) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大</b>				
① 男女共同参画調整事業	男女共同参画社会づくりに関する施策を総合的に展開するため、県の関係部局はもとより、国や市町村との連携を図り、推進体制を強化する。 また、男女共同参画の推進に係る重要な事項について調査審議するため、「宮崎県男女共同参画審議会」の運営を行う。	○宮崎県男女共同参画推進会議 H30.5.28開催(会長:知事) ○女性登用推進員会議 H30.5.24開催 ○宮崎県男女共同参画審議会 H30.11.6開催 (第3次みやざき男女共同参画プランの概要及び関連施策について審議) ○市町村主管課長会議・研修会、市町村担当職員研修会を開催	2,127	生活・協働・男女参画課
		○宮崎県男女共同参画推進会議 R1.6.3開催(会長:知事) ○宮崎県男女共同参画審議会 R1.11.15開催 ○市町村主管課長会議・研修会、市町村担当職員研修会を開催	2,139	
<b>施策の基本的方向(2) 経済分野における女性の活躍</b>				
① みやざきビジネスアカデミー(ひなたMBA)	マーケティングやマネジメントなどのビジネススキルの向上を図る各種研修講座や、フードビジネス分野に係る講座等を実施し、本県の産業振興を支える重要な担い手である女性の経済分野での活躍を促進する。	県、経済団体及び金融機関等が連携し、業種に共通して求められるビジネススキルを習得するためのプログラム「ひなたMBA」やフードビジネス分野における人材育成プログラム「フードビジネスアカデミー」を実施した。 ・修了者数 1,276名	82,605	産業政策課
		継続	80,000	
② 女子高校生のためのサイエンス体験講座in宮崎大学(宮崎大学主催)	宮崎大学と連携し、理工系に進学を希望する女子生徒を対象とした体験学習会の開催を支援し、女子生徒の理工系への進学意欲を促進する。	女子生徒が理工系学部への進学意欲を高めるため、高校に案内を送付し参加を促した。 ・工学部・農学部・医学部 参加人数:122名	*	高校教育課
		県内高校に案内を送付し、理系に興味・関心をもつ女子生徒を対象とした体験研究講座を工学部・農学部・医学部の3学部において、昨年度と同規模で実施する。	*	
③ みやざき女性の活躍加速化事業	意欲と能力のある女性が社会で活躍し、男性もゆとりある生き方を目指す社会の実現に向けた取組を行う。	①「みやざき女性の活躍推進会議」の一層の活動促進を図るため、推進員1名を配置。 ②みやざき女性の活躍推進会議の運営・研修会の開催(3回、369人) ③「宮崎県男女共同参画功労賞(3件)」及び「宮崎県女性のチャレンジ賞(1件)」表彰(表彰式 H30.2.1) ④女性の活躍サポート連絡協議会開催 ⑤ホームページ「チャレンジサイト・みやざき」による情報提供	4,053	生活・協働・男女参画課
		①継続 ②3回開催予定(7月5日、11月7日、2月6日) ③~⑤継続	4,741	

④ 女性の活躍サポート事業	女性の再就職や起業、キャリアアップ等に関する情報提供や相談事業等を行うほか、女性が様々なライフイベントに際し働き続けることができる環境づくりについて考えるセミナーを開催し、女性の活躍を積極的に支援する。	①女性の活躍に関する相談 電話・面接相談を実施。 (月～土曜、9時～17時) 相談件数 236件 ②女性の活躍応援講座 2回開催、参加者数60人 ③メンター派遣事業 派遣回数 20回、参加者876人 ④ウェブサイト「ひむかWOMAN」による ロールモデルの紹介 ・ロールモデル登録123人 ・ページ閲覧数39,878件 ⑤女性の就業継続支援セミナー 1回開催、参加者数40人	4,526	生活・協働・男女参画課
		①継続 ②1回開催予定(1月23日) ③目標 派遣回数20回 ④継続 ⑤1回開催予定(12月11日)	4,542	
⑤ みやざき新ビジネス応援プラザ運営事業	創業を目指す方やベンチャー企業の支援・育成の場として、ビジネス・インキュベーション機能を有する貸しオフィスを運営する。 ・所在地:宮崎市松橋2丁目4番31号 宮崎県中小企業会館5階 ・施設等:創業支援室 8室(デスク・電話・インターネット等完備) ・賃料等:月額23,700円～39,500円、保証料・共益費なし	延べ6企業入居	3,421	商工政策課
		延べ4企業入居	3,403	
⑥ 「世界へ尖れ」みやざき産業人材育成事業のうちみやざきスタートアップ支援事業	宮崎商工会議所に設置した「みやざきスタートアップセンター」において、セミナーやビジネスプランコンテストを開催し、新規創業者やベンチャー企業が持っている商品・サービスのブラッシュアップから販路開拓まで一貫した支援を実施する。	・セミナー・ワークショップ 8回開催(延べ413人参加) ・ビジネスプランコンテスト 応募者13人、発表者11人	3,747	商工政策課
		事業終了	-	
⑦ 宮崎県中小企業融資制度「創業・新分野進出支援貸付」	県中小企業融資制度の「創業・新分野進出支援貸付」に、保証料率を優遇した特別枠を設け、起業意欲のある女性や若者(30歳未満)等の個性や経験・能力を生かした開業の促進を図る。 標準的な保証料率 年0.75% 女性・若者等 年0.65%	・「創業・新分野進出支援貸付」 融資実績、17件 231,000千円 ・県中小企業融資制度に関する説明会の実施 県内5か所 ・新聞広報の実施 県内1紙	1,133,333	商工政策課
		継続	1,133,333	
⑧ 企業カアップ総合支援事業	新規創業、新分野進出など中小企業者等の事業展開の支援を行うため、(公財)宮崎県産業振興機構に相談窓口を設置する。	相談件数 526回	23,786	企業振興課
		新規創業、新分野進出など中小企業者等の事業展開の支援を行うため、(公財)宮崎県産業振興機構に相談窓口を設置する。	22,068	
⑨	宮崎労働局と連携しながら、次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法の事業主行動計画の届出や助成金等について、周知啓発に努める。	広報誌発送の際に助成金の案内(チラシ)を同封 ・「労働みやざき」6月号、3月号	*	雇用労働政策課
		継続	*	
⑩	企業が積極的かつ自主的に雇用管理の改善を行うよう、ポジティブ・アクションの取組促進の啓発に努める。	セミナー開催時に、厚生労働省作成のパンフレットを配付	*	雇用労働政策課
		継続	*	
⑪ 女性の力でリードする農山漁村パワーアップ事業	農林水産業に係る女性団体への支援や、それらの団体の組織間交流を促進することにより、女性農林漁業者の活躍促進を図り、活気ある農山漁村づくりを目指す。	○県段階の意見交換会の開催 1回 ○女性農林漁業者ネットワーク交流会 参加者228名 ○地域段階の研修会、若年女性農業者育成等女性農業者グループ活動支援 8地区 ○宮崎県農山漁村女性会議への支援 ○普及指導協力委員(女性)の研修会等への派遣	3,000	農業経営支援課 農業担い手対策室
		○農山漁村女性会議 R1.7.2 ○Hinata・あぐりんぬ総会 R1.7.9 ○女性農林漁業者ネットワーク交流会 第1回実行委員会 R1.8.26 ○女性農林漁業者ネットワーク交流会 第2回実行委員会 R1.10.8 ○女性農林漁業者ネットワーク交流会 R1.11.8	3,000	

施策の基本的方向(3) 女性の能力発揮への支援

① 男女共同参画センター管理 運営委託費	宮崎県男女共同参画センターにおいて、男女共同参画社会づくりに関する情報提供、啓発、相談、交流及び連携事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報提供事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書、ビデオ、DVD、各種資料等の収集整理及び貸出</li> <li>・ホームページによる情報発信</li> </ul> </li> <li>○啓発事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報啓発誌「ブリリアント」の発行 年3回</li> <li>・男女共同参画講座等各種講座の開催 (27回、1,072人)</li> <li>・講師等派遣事業 45回</li> </ul> </li> <li>○相談事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談(電話・面接) 1,594件</li> <li>・専門相談(面接のみ) 66件</li> </ul> </li> <li>○交流及び連携事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ登録の促進</li> <li>・男女共同参画センターネットワーク会議の開催 1回</li> <li>・市町村訪問</li> </ul> </li> <li>○その他男女共同参画社会づくりに資する事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・CRによるエンパワメント事業 1回</li> <li>・リーガルカフェ 1回</li> </ul> </li> </ul>	30,491	生活・協働・男女参画課
		継続	31,056	
② みやざき女性の活躍加速化 事業(再掲)	上記のとおり(2)③		(4,053)	生活・協働・男女参画課
			(4,741)	
③ 女性の活躍サポート事業 (再掲)	上記のとおり(2)④		(4,526)	生活・協働・男女参画課
			(4,542)	
④ 地域ぐるみの漁業担い手リ クルート活動展開事業	漁村地域の女性リーダー等と水産業普及指導員が連携して食育、魚食普及活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理教室、講習会等の実施数</li> <li>学生(小学校~高校) 13件</li> <li>一般対象 8件</li> </ul>	*	漁村振興課
		継続	*	
⑤ 生涯学習ホームページ「み やざき学び応援ネット」	多様化する県民の学習ニーズに応え、県民が必要とする生涯学習に関する情報を幅広くかつ迅速に提供し、県民の生涯学習活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間アクセス数 798,124件</li> <li>・1日当たりのアクセス数 2,187件</li> </ul>	2,283	生涯学習課
		継続	2,131	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

基本目標1 あらゆる分野における女性の活躍の推進

(令和元年9月末現在)

重点分野2 就業環境の整備				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(4) 雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保</b>				
① みやざき女性の活躍加速化 事業(再掲)	上記のとおり(2)③		(4,053)	生活・協働・男女参画課
			(4,741)	
② 女性の活躍サポート事業 (再掲)	上記のとおり(2)④		(4,526)	生活・協働・男女参画課
			(4,542)	
③ ワークライフバランス促進事業 (「仕事と生活の両立応援 宣言」普及啓発講演会開催 事業)	働く女性の地位と福祉の向上を図るため、仕事 と家庭を両立しやすい職場環境づくりや均等待遇 に関する最新の情報をテーマとしたセミナーを開 催する。	・「仕事と家庭の両立支援講演会」の 開催(参加者:62名)	302	雇用労働政策課
		・「ワークライフバランス講演会」の開催	279	
④ ワークライフバランス促進事業 (「仕事と生活の両立応援 宣言」登録事業所認証制 度等普及啓発事業)	仕事と生活の両立応援宣言登録制度の普及・登 録促進及び「働きやすい職場『ひなたの極』」認 証制度の普及に努める。	・仕事と家庭の両立応援宣言企業登録 制度 (平成30年度登録:76件、 累計:1,145件)	1,272	雇用労働政策課
		・「仕事と家庭の両立応援宣言」啓発 パンフレットの作成(2,700部)、配布 ・「働きやすい職場『ひなたの極』」認証制度 の創設(8社認証)		
		継続	1,432	
⑤	企業が積極的かつ自主的に雇用管理の改善を行 うよう、ポジティブ・アクションの取組促進の啓 発に努める。【再掲】	セミナー開催時に、厚生労働省作成のパンフ レットを配付	*	雇用労働政策課
		継続	*	
⑥ ワークライフバランス促進事業 (「仕事と生活の両立応援 宣言」登録事業所フォロー アップ事業)	「仕事と生活の両立応援宣言」登録事業所の人事 労務担当者を対象として研修会を実施。	・宮崎(2回)、都城、延岡でセミナーを開催 (参加者:45名(36社)) ・相談を希望する参加登録事業所等へ社会保険 労務士を派遣	2,842	雇用労働政策課
		継続	2,894	
⑦ 労働相談事業	労働条件や就業環境などに関する相談窓口を設 け、労働に関する様々な相談について助言を行 う。	県内4箇所に設置する中小企業労働相談所(宮 崎、日南、延岡、都城)において労働相談を実 施。(相談件数:418件)	316	雇用労働政策課
		継続	360	
⑧ みやざき女性・高齢者就業 促進事業	就業を希望しながら現在職に就いていない女性 や高齢者の就業を促進するため、官民が連携して 多様な人材が働きやすい職場づくりの推進を図 る。	-	-	雇用労働政策課
		・女性・高齢者及び企業を対象にした意識調査 の実施 ・働き方改革アドバイザーの養成 ・企業経営者向けに普及啓発動画の制作	16,000	
⑨ 働き方改革推進強化事業	企業経営者の意識改革を図るため、企業経営者 を対象にした「働き方改革講演会」を実施する。 「働きやすい職場『ひなたの極』認証制度」を 県内企業等に広く認知してもらうため、事業推進 員を1名配置し、積極的なPRを行う。また、認 証企業等の事例集を作成し、その取組状況を紹 介し、認証制度の普及を図る。	-	-	雇用労働政策課
		・働き方改革講演会の開催 ・働きやすい職場「ひなたの極」普及推進員1 名の配置 ・働きやすい職場「ひなたの極」認証企業の取 組事例集の作成	7,937	

施策の基本的方向(5) 多様な就業ニーズを踏まえた就業環境の整備				
① 離職者等再就職訓練事業	育児・介護等で長期間離職した女性や就職を希望する母子家庭の母等に対し、職業訓練や就職支援を一体となって実施することで、離職した女性の再就職等を促進する。	H30年度職業訓練（事業全体） ・年間54コースを計画 ・定員 983名 ・入校者 770名（うち女性635名） ・修了者 701名（うち女性569名） ・就職者 575名※就職中退21名を含む （就職率79.6%）	357,220	雇用労働政策課
		R1年度職業訓練（事業全体） ・年間 54コースを計画 ・定員 973名	379,485	
② 離職者等再就職訓練事業 （日本版デュアルシステム）	育児・介護等で長期間離職した女性に対し、デュアル訓練を実施する。	職業訓練 （デュアルシステムコースのみ） ・入校者 65名（うち女性62名） ・修了者 60名（うち女性58名） ・就職者 49名 （就職率81.7%）	5-① に含む	雇用労働政策課
		職業訓練 （デュアルシステムコースのみ） ・4コースを計画 ・定員 80名	5-① に含む	
③	宮崎労働局と連携し、雇用の維持、長時間労働の抑制等の「働き方改革」や男性も含めた育児休業の取得促進の取組、正規雇用の拡大や労働条件の改善等について、企業・関係団体へ継続して働きかける。	宮崎労働局はじめ関係団体と連携して、「みやざき働き方改革推進会議」を構成	*	雇用労働政策課
		継続	*	
施策の基本的方向(6) 女性の就業継続・再就職・起業等のための支援				
① みやざき女性の活躍加速化事業(再掲)	上記のとおり(2)③		(4,053)	生活・協働・男女参画課
			(4,741)	
② 女性の活躍サポート事業(再掲)	上記のとおり(2)④		(4,526)	生活・協働・男女参画課
			(4,542)	
③ 女性医師等の離職防止・復職支援事業	女性医師や看護師等の離職を防止し、女性医療従事者が出産・育児と勤務との両立を安心して行うことができる環境の整備を図るため、医療機関が実施する短時間正規雇用の支援や病院内保育所の運営費補助等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口設置・運営</li> <li>・医師のワークライフ・バランスセミナー開催</li> <li>・病院内保育所運営費補助金 9医療機関</li> <li>・女性医師等就労支援事業 8医療機関</li> </ul>	36,043	医療業務課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口設置・運営</li> <li>・医師のワークライフ・バランスセミナー開催</li> <li>・病院内保育所運営費補助金</li> <li>・女性医師等就労支援事業</li> </ul>	
④ 離職者等再就職訓練事業 （日本版デュアルシステム）(再掲)	上記のとおり(5)②		5-① に含む	雇用労働政策課
			5-① に含む	
⑤ みやざきの女性就労応援事業	出産や育児などのライフイベントにより離職した女性で再就職を希望する者等に対して、再就職支援セミナーの開催や職場見学会、就業体験の実施、定着支援、就労動向の調査・分析を一貫して行う。	再就職支援セミナーの開催（参加者：39名） 職場見学会の実施（参加者：10名） 就業体験の実施（参加者：11名）	2,700	雇用労働政策課
		-	-	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

基本目標1 あらゆる分野における女性の活躍の推進

(令和元年9月末現在)

重点分野3 男性中心型の働き方の見直しと仕事と生活の調和				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(7) 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し</b>				
① 女性の活躍サポート事業 (再掲)	上記のとおり(2)④		(4,526)	生活・協働・男女参画課
			(4,542)	
② ワーク・ライフ・バランス促進事業 (「仕事と生活の両立応援 宣言」普及啓発講演会開催 事業) (再掲)	上記のとおり(4)③		(302)	雇用労働政策課
			(279)	
③ ワーク・ライフ・バランス促進事業 (「仕事と生活の両立応援 宣言」登録事業所認証制 度等普及啓発事業)(再 掲)	上記のとおり(4)④		(1,272)	雇用労働政策課
			(1,432)	
④	仕事と家庭の両立が可能となるよう、イクメン・イクボスの普及を行うとともに、働き方の見直しや多様な働き方について、各種啓発活動を通じて理解を促す。	厚生労働省作成のリーフレット及びポスター等を関係機関へ配布		雇用労働政策課
		継続		
⑤	育児・介護休業の取得や休業後の円滑な職場復帰を促すため、事業主等に対し、国の助成金や給付金制度及び法改正について、宮崎労働局と連携しながら周知を図る。	・広報誌発送の際に案内(チラシ)を同封 助成金:「労働みやざき」6月号 ・広報誌に情報を掲載 法改正:「労働みやざき」9月号		雇用労働政策課
		継続		
⑥	宮崎労働局と連携し、雇用の維持、長時間労働の抑制等の「働き方改革」や男性も含めた育児休業の取得促進の取組、正規雇用の拡大や労働条件の改善等について、企業・関係団体へ継続して働きかける。(再掲)	宮崎労働局はじめ関係団体と連携して、「みやざき働き方改革推進会議」を構成		雇用労働政策課
		継続		
⑦ ワーク・ライフ・バランス促進事業 (「仕事と生活の両立応援 宣言」登録事業所フォロー アップ事業)(再掲)	上記のとおり(4)⑥		(2,842)	雇用労働政策課
			(2,894)	
⑧ みやざき女性・高齢者就業 促進事業(再掲)	上記のとおり(4)⑧		-	雇用労働政策課
			(16,000)	
⑨ 働き方改革推進強化事業 (再掲)	上記のとおり(4)⑨		-	雇用労働政策課
			(7,937)	
<b>施策の基本的方向(8) 家庭・地域生活への男女の共同参画の促進</b>				
① 男女共同参画センター管理 運営委託費	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
② ワーク・ライフ・バランス促進事業 (「仕事と生活の両立応援 宣言」普及啓発講演会開催 事業)(再掲)	上記のとおり(4)③		(302)	雇用労働政策課
			(279)	
③ 「仕事と生活の両立応援 宣言」登録事業所認証制 度等普及啓発事業)(再掲)	上記のとおり(4)④		(1,272)	雇用労働政策課
			(1,432)	

④ ワークライフ・バランス促進事業 （「仕事と生活の両立応援宣言」登録事業所フォローアップ事業）（再掲）	上記のとおり（４）⑥		(2,842)	雇用労働政策課
			(2,894)	
⑤ 「みやざき家庭教育サポートプログラム」普及事業	家庭の教育力の低下を懸念する声がある中で、全県的な家庭教育支援の機運を醸成するとともに、「みやざき家庭教育サポートプログラム」の普及や家庭教育を支える人材の養成を行うことにより、子どもが伸びやかに育つ環境の整備を進める。	「みやざき家庭教育サポートプログラム」を活用した講座数 90件  継続	1,589	生涯学習課
			2,457	
<b>施策の基本的方向(9) 多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援策の充実</b>				
① 女性医師等の離職防止・復職支援事業 （再掲）	上記のとおり（６）③		(36,043)	医療業務課
			(25,809)	
② 介護サービス情報の公表推進	利用者が介護サービスや事業所・施設を適切に選択できるよう各事業所・施設の情報を都道府県が提供する仕組みであり、この「介護サービス情報公表システム」を閲覧することで利用者やその家族の選択に資することを可能にするための情報提供体制の構築を図る。	閲覧件数 28,849件  継続	769	長寿介護課
			777	
③ 未来みやざき子育て県民運動推進事業	これからの子育ての主役となる若者層を対象とした意識付けの取組や、「地域」「企業」における多面的な子育て支援に対する取組・支援を図るとともに、「情報発信」による県民への子育てに対する理解、意識啓発の積極的な推進を通して、「子どもと子育てを応援することが当たり前な社会」を実現する。	①ライフデザイン事業 出前講座 参加者数362人 シンポジウム 参加者数129人 ②多様な主体が取り組む子育て環境づくり支援事業 補助12件 ③夫婦の子育て協働推進事業 パパの家事・育児教室 6回 ④子育て応援フェスティバル 1回 ⑤子育て応援サービスの店 1407店舗	18,818	こども政策課
			①出前講座・シンポジウム開催 ②補助 14件 ③シンポジウム1回、パパの家事・育児教室3回開催予定 ④1回開催予定	
④ 放課後児童クラブ事業	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童（小学生）に対し、放課後や長期休暇等に小学校の余剰教室や児童館等において、適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図ることにより、保護者の仕事と家庭の両立支援を図る。	補助支援クラブ数 254 施設の新設 2件 支援の単位増 19件  補助支援クラブ数 264	658,835	こども政策課
			681,965	
⑤ 預かり保育推進事業	少子化対策の一環として、私立幼稚園等に対する保護者のニーズ（子育て支援）に対応するために、預かり保育を実施する幼稚園等に対して補助を行う。	実施施設数 17園  実施施設数 13園	18,900	こども政策課
			17,295	
⑥ ファミリー・サポート・センター事業	乳幼児や小学生の児童を有する子育て中の保護者等を会員として、子どもを預けることを希望する者と援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する調整等を行う。	実施市町村数 11  実施市町村数 12	19,760	こども政策課
			16,588	
⑦ ファミサポアドバイザー資質向上・広報事業	県内のファミリー・サポート・センター間の連携を図るため、アドバイザー等を対象とした研修会を実施するとともに、会員拡大を図るため地域住民への周知広報を行う。	研修2回、広報用冊子18,000部  研修2回、広報用冊子作成	688	こども政策課
			693	
⑧	宮崎労働局と連携し、雇用の維持、長時間労働の抑制等の「働き方改革」や男性も含めた育児休業の取得促進の取組、正規雇用の拡大や労働条件の改善等について、企業・関係団体へ継続して働きかける。（再掲）	宮崎労働局はじめ関係団体と連携して、「みやざき働き方改革推進会議」を構成  継続	*	雇用労働政策課
			*	
⑨ 「みやざき家庭教育サポートプログラム」普及事業（再掲）	上記のとおり（８）⑤		(1,589)	生涯学習課
			(2,457)	
⑩ 放課後子供教室推進事業	安全安心な子どもの居場所づくりのために、「放課後子供教室」の運営に対し補助を行う。	・放課後子供教室の設置数 14市町村 65箇所  ・放課後子供教室の設置数 14市町村 67箇所	27,075	生涯学習課
			27,075	

⑪ 病児等保育実施事業	県立病院内に病児等保育所を設置することで、女性が働きやすい環境整備に取り組み、女性医師をはじめ、女性看護師、その他医療職の人材定着・確保を図る。	○宮崎病院内保育施設利用者数 ・病児 667名 ・一時 2,492名 ○延岡病院内保育施設利用者数 ・病後児 2名 ・一時 3,278名 ○日南病院内保育施設利用者数 ・病児 21名 ・一時 553名 ・通常 8名	84,204	病院局経営管理課
		0歳から小学校3年生までの乳幼児、児童を対象に、県立病院において病児保育等院内保育を実施。	110,390	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの



基本目標1 あらゆる分野における女性の活躍の推進

(令和元年9月末現在)

重点分野4 様々な分野における男女共同参画の推進				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(10) 地域活動、環境の分野における男女共同参画の推進</b>				
① 地域づくり人材育成・ネットワーク化事業	地域づくり団体の自主的・主体的な活動を促進することを目的とした地域づくりネットワーク協議会への助成を行い、情報提供や人材の育成、地域づくり団体間の連携・交流促進を通して地域の活性化を図る。	・人材育成事業 地域づくりリーダー実践塾の開催 8地域 ・ブロック連携強化事業 ブロック運営会議の開催 8地域 ・地域づくり交流事業 地域づくり団体研修交流会の開催 参加者81名 ・情報発信・連携事業 地域づくり人材ネット研修会に参加 参加者9名	5,664	中山間・地域政策課
		・地域づくり交流・連携事業 地域づくり団体研修交流会の開催 ・地域づくり人材育成事業 地域づくり人材ネット研修会に参加 ・地域づくりブロック活動支援事業 地域づくりリーダー実践塾の開催 ・地域づくり課題解決モデル事業 市町村と連携した事業の実施	5,663	
② みやざきNPO・協働支援センター事業 (30年度事業名：NPO・協働支援センター事業)	支援拠点施設を設置し、地域づくりやNPOの活動支援、協働の推進を実施する。	・利用者数 7,211人 ・活動支援スペース提供 355件 ・NPO、協働促進研修 6回、253人 ・NPO運営・法人設立等の相談 193件	15,197	生活・協働・男女参画課
		継続	14,328	
③ 男女共同参画推進地域リーダー連携促進事業 (30年度事業名：男女共同参画推進地域リーダー養成事業)	地域で普及啓発に取り組む行政職員や実践活動を行うリーダーへの学習機会を計画的、継続的に提供するとともに、新たに地域で男女共同参画に取り組む意欲のある人材の掘り起こしを行う。	・市町村課長会議での講演会の開催 1回 ・市町村担当職員研修会の開催 1回 ・男女共同参画地域推進員養成講座 (基礎編) 受講者：18人 (実践編) 受講者：36人	684	生活・協働・男女参画課
		継続	647	
④ 男女共同参画センター管理運営委託費 (再掲)	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
⑤ 環境保全アドバイザー派遣事業	市町村、民間団体、学校等が開催する講演会、研修会、講習会等に県内在住の様々な環境分野の専門家を講師として無料で派遣する。	・派遣回数 89回 ・受講者数 3,594人 ※登録数 102人 (女性24人、男性78人)	902	環境森林課
		・派遣回数 73回 ・受講者数 2,300人以上(算定中) ※登録数 102人 (女性24人、男性78人)	892	
⑥ 地球温暖化防止活動推進員による温暖化対策推進事業	地球温暖化防止活動推進員が地域において、温暖化防止に関する研修会の開催などの普及・啓発活動を行い、地域、家庭での温暖化防止の推進を図る。	推進員 63人(女性31、男性32人)	674	環境森林課
		推進員 63人(女性31、男性32人)	636	
⑦ 「宮崎版DMO」確立事業	地域の観光振興をリードする人材を育成し、観光を担う人材・団体等のネットワーク化を図るため、「観光みやざき創生塾」を実施する。	参加者数 36人 (うち女性11人)	7,868	観光推進課
		参加者数 42人 (うち女性10人)	9,253	
⑧ 宮崎県地域婦人連絡協議会 県費補助金	社会教育の充実振興の中核を担う社会教育関係団体である宮崎県地域婦人連絡協議会の活動を支援することにより、地域や家庭の教育力の向上を図る。	・九州地区地域婦人大会 789名参加	377	生涯学習課
		・宮崎県婦人大会参加 ・宮崎県婦人体育大会参加	377	

施策の基本的方向(11) 活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の推進

① 単位林業研究グループ活動 支援事業	林業後継者等グループの先導的活動に対し支援し、地域リーダーとして育成する。	17グループで先導的活動や学習会・研修会の開催、地域おこしの企画等を実施	1,505	森林経営課
		18グループで先導的活動や学習会・研修会の開催、地域おこしの企画等を実施予定	2,000	
② 林業女性（ひなたもりこ） 活動支援事業	みやざき森林・林業女性の会「ひなたもりこ」の活動支援により、ネットワークを強化し、女性の活躍による山村地域の活性化を図る。	①交流研修会の開催 34名参加（県央19名、県南15名） ②技能講習会の受講支援 7名参加（チェーンソー5名、刈払機2名）	240	森林経営課
		①継続 ②継続	477	
③ 地域が潤う農泊クラスター 支援事業	農家民宿経営者等で組織する地域協議会等が実施する農泊推進の取組を支援することにより、中山間地域の所得向上及び活性化を図る。	・支援実施団体 4団体	2,500	農政企画課 中山間農業振興室
		—	—	
④ 宮崎の魅力を活かす農泊地 域総合支援事業	宿泊施設や農業体験等の情報をオンライン旅行予約サイトを活用し効果的に発信するとともに、地域協議会等が他の業種と連携して行う取組などを支援し、農泊を推進することで中山間地域の所得向上と活性化を図る。	—	—	農政企画課 中山間農業振興室
		・予約サイトへの宿泊施設等掲載 50軒 ・支援実施団体 3団体 ※9月末現在における見込み。	12,670	
⑤ 女性の力でリードする農山 漁村パワーアップ事業（再 掲）	上記のとおり（2）⑪	—	(3,000)	農業経営支援課 農業担い手対策室
		—	(3,000)	
⑥ 結ぶ6次化！農業新ビジ ネス拡大支援事業	女性の知恵と感性を生かした地域特産品の加工・販売への取組を支援します。	・「みやざき6次産業化サポートセンター」でのプランナー派遣等による加工・販売等への取組支援 延べ支援数 247件	56,640	農業連携推進課
		・「みやざき6次産業化サポートセンター」でのプランナー派遣等による加工・販売等への取組支援	65,865	
⑦ みんなで実践みやざき食の 安全・地産地消推進事業  みやざき食の安全・食育連 携強化推進事業	食の安全・安心確保と食育・地産地消の推進により、宮崎県産の安全・安心な食の提供と県民の信頼確保を図る。	・食育ティーチャーの育成 121人 ・料理講座：66回、参加県民数3,247人 ・Karada Good Miyazakiフェスタ2018の開催：11月、13,000人参加	14,659	農業連携推進課
		・食育ティーチャーの育成 ・料理講座の開催 ・Karada Good Miyazakiフェスタ2019の開催	9,815	
⑧ 産地一体型宮崎のさかな競 争力強化総合支援事業（H29 ～H31）	魚価の下支えを目的とした加工品開発の取組について、「県産水産物販売促進会議」の基盤強化と販売拡大のために、実需者と連携した商品開発の加速化とともに小規模加工業者等を支援し、新たな「宮崎のさかなビジネス」の拡大と定着化を促進する。	・水産加工技術研修会の開催 場所：県北、県南の2会場 参加者数：計49名（漁協女性部等）	9,331	水産政策課
		・水産衛生（アニサキス症対応）研修会の開催 場所：宮崎市 参加者数：計65名	9,331	
⑨ 地域ぐるみの漁業担い手リ クルート活動展開事業（再 掲）	上記のとおり（3）④	—	(*)	漁村振興課
		—	(*)	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

基本目標2 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

(令和元年9月末現在)

重点分野5 男女共同参画の推進に向けた意識改革				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(12) 男女共同参画の視点に立った慣習・慣行の見直し</b>				
① 男女共同参画センター管理 運営委託費 (再掲)	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
② 集中啓発事業	県民の人権意識が高まるように、人権啓発強調 月間及び人権週間(12月4日～10日)において、 集中的に啓発事業を実施する。	・夏休みふれあい映画祭 県内18市町村で実施 参加者4,312人 ・街頭啓発(総合政策部長、宮崎地方 法務局長他)	8,720	人権同和对策課
		・夏休みふれあい映画祭 県内14市町村で実施 参加者2,618人 ・街頭啓発(一日人権擁護委員3名、 宮崎地方法務局長他)	8,794	
<b>施策の基本的方向(13) 理解と共感を広げる広報・啓発活動の推進</b>				
① 男性も女性も輝く男女共同 参画啓発事業	あらゆる人に男女共同参画への理解が進むよ う、講演会やメディア等を活用した広報・啓発、 地域への支援事業を実施し、県全体に男女共同参 画についての理解の浸透を図る。	・「男女共同参画週間(6/23～29)」 「女性に対する暴力をなくす運動 (11/12～25)」にあわせた広報・啓発 (新聞広告、県政番組、パネル展開催) ・男女共同参画推進のための協働事業 (川南町、都農町)	809	生活・協働・男女参画課
		継続	687	
② 啓発資料整備事業	男女共同参画社会づくりの趣旨を広く県民に浸 透させるため、啓発資料を整備・充実し、市町 村、関係機関・団体等に配布する。	・男女共同参画マップ 1,800部 ・DV防止啓発リーフレット 4,000部 ・デートDV防止啓発パンフレット 11,000部 ・「イシキをかえてシャカイをかえる」 パンフレット 3,000部 ・ウェブサイト「ひむかWOMAN」 紹介チラシ 6,000部 ・女性に対する暴力をなくす運動啓発 懸垂幕掲出(山形屋)	1,577	生活・協働・男女参画課
		継続	1,601	
③ 男女共同参画センター管理 運営委託費 (再掲)	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
④ 集中啓発事業 (再掲)	上記のとおり(12)②		(8,720)	人権同和对策課
			(8,794)	
⑤ 多様性を尊重する社会づく り人権啓発研修推進事業 (～H30 人権啓発研修実践 支援強化事業)	県民が主体的に人権啓発研修に取り組むための リーダー等となる人材の育成を行うとともに、啓 発研修に必要な視聴覚教材を整備して研修実施を 支援することにより、企業・団体等における主体 的な啓発研修の取組を進め、人権意識の高揚を図 る。	・人権担当者養成講座 91人 ・研修講師養成講座 14人 ・県民人権講座 322人 ・人権啓発研修プログラム速習講座 76人 ・研修講師派遣 111回	4,933	人権同和对策課
		・人権担当者講座 59人 ・研修講師養成講座 23人 ・県民人権講座 継続 ・人権啓発研修プログラム速習講座 66人 ・研修講師派遣 継続	5,151	

⑥ みんなでつくる「一人ひとりが尊重し合うみやざき」人権啓発事業	大学やNPO等民間団体と連携することで、それぞれの団体の特性を生かした多様な人権啓発事業を展開するとともに、各団体の積極的な活動を促し、県内の人権啓発活動を活性化することにより、県民の人権意識の高揚を図る。	次の3大学、4団体に委託してそれぞれの特色を生かした啓発事業を実施 宮崎大学、宮崎国際大学、宮崎産業経営大学、NPO法人みやざき子どもセンター、(株)エムアイビーテレビ、m20、宮崎県自閉症協会	5,157	人権同和対策課
		次の3大学、4団体に委託してそれぞれの特色を生かした啓発事業を実施 宮崎大学、宮崎国際大学、宮崎産業経営大学、(株)グローバル・クリーン、(株)エムアイビーテレビ、社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会、宮崎LD・発達障がい親の会「フレンド」	4,840	
⑦ 調査研究・相談事業	人権に関する視聴覚教材や図書等の貸出、効果的な研修プログラムの開発や研修手法の調査研究を行うと共に、人権問題に関する相談業務を行う。	・ビデオ貸出 670本 (視聴者数 28,398名) ・図書貸出 149冊 ・人権相談件数 46件	6,702	人権同和対策課
		継続 ・ビデオ貸出 281本 (視聴者数 10,216名) ・図書貸出 68冊 ・人権相談件数 17件	4,479	
⑧ 人権啓発情報発信事業 (～30「広げる・つながる」人権啓発推進事業)	県民に対して、人権問題や人権啓発に関する様々な情報を提供し、県民の自己啓発に資するとともに、人権問題への関心を深めてもらうことにより、県民への人権意識の高揚を図るため情報誌を発行する。	情報誌の発行年3回 (10,000部×3回=30,000部)	2,856	人権同和対策課
		情報誌の発行年2回 (11,000部×2回=22,000部)	2,638	
⑨ 人権啓発情報発信事業 (～30「広げる・つながる」人権啓発推進事業)	宮崎県人権ホームページを作成し、人権及び人権啓発に関する様々な情報を適時・的確に提供することにより、県民の人権意識を高め、人権に関する多様な学習機会を提供する。	閲覧者数 152,813人 アクセス数 1,844,365件	480	人権同和対策課
		継続	483	
⑩ 若者を対象とした人権映像作品コンテスト	青島太平洋マラソン実行委員会、テゲバジャーロ宮崎、J.F.C宮崎等のスポーツ組織等と連携・協力した人権啓発活動を実施する。	・青島太平洋マラソン会場での啓発 ・サッカー試合会場での啓発	1,834	人権同和対策課
		継続	1,858	
⑪ 若者を対象とした人権映像作品コンテスト	高校生、大学生等の若者を対象に、人権に関するCM用映像作品のコンテストを実施し、最優秀作品についてはテレビで放送する。	・最優秀賞「届けよう優しさ」 (妻高等学校放送部) ・テレビ放映 2月18日～2月24日18本	1,155	人権同和対策課
		継続	1,166	
⑫ 人権啓発資料作成事業	「ファミリーふれあい」(小学生用、中学生用、高校生用)を作成し、小・中・高校の1年生を対象に配付することにより、学校・家庭での活用を図り、児童生徒の人権意識の高揚を目指す。	・小学生用 12,600部 ・中学生用 11,300部 ・高校生用 8,500部	3,739	人権同和教育課
		・小学生用 12,600部 ・中学生用 12,500部 ・高校生用 9,300部	3,808	
<b>施策の基本的方向(14) 男女共同参画に配慮したメディア表現の促進</b>				
①	* 県の作成する広報、出版物等における男女共同参画の視点に立った表現の推進	—	*	全部局
		男女共同参画の視点からの公的広報に係る留意点について、知事部局及び各種委員会に通知するとともに、各職員については、全庁掲示版により周知。	*	
②	学校における情報教育を通して、様々なメディアからの男女共同参画を阻害する情報に対し、情報を正しく理解する能力の育成や、自他の権利を尊重して責任ある行動をとる態度の育成など、メディア・リテラシーの育成・向上に努める。	—	*	高校教育課 義務教育課
		—	*	

(注)「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

基本目標2 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

(令和元年9月末現在)

重点分野6 教育・学習を通じた男女共同参画の推進				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(15) 子どもたちの男女共同参画の理解の促進</b>				
① 男女共同参画センター管理 運営委託費 (再掲)	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
② 啓発資料整備事業 (再掲)	上記のとおり(13)②		(1,577)	生活・協働・男女参画課
			(1,601)	
③ 人権に関する作品募集	小中高生から作文、図画・ポスターを募集し、優秀作品を表彰する。また、優秀作品を掲載した作品集、リーフレットを作成し関係機関に配布する。	・作文 7,911点 ・図画・ポスター 3,624点 ・作品集 3,500部 協議会会員、教育関係団体等 ・リーフレット 360,000部 各家庭、協議会会員、教育関係団体等	1,327	人権同和対策課
		継続	1,337	
④ 青少年健全育成条例運営推進事業	「宮崎県における青少年の健全な育成に関する条例」に基づき、青少年の非行防止と健全育成を推進する。	有害図書類の指定 35件 有害興行の指定 63本 立入調査 延べ 277件	2,033	こども家庭課
		有害図書類の指定、有害興行の指定及び立入調査の実施等(立入調査 延べ535件)	1,926	
⑤ 宮崎県キャリア教育推進事業	子どもたちが働く上で必要となる基礎力をつける取組として、ライフプランナーによる将来設計を描く授業や労働局による労働法に関する講習会等を実施する。	・将来設計を描く授業 (高等学校13校で実施) ・労働法に関する講習会 (高等学校21校で実施)	5,553	高校教育課
		継続	4,241	
⑥ 高校生ひなた暮らし促進事業(30年度事業名:県内高校と県内企業ネットワーク強化事業)	県下6校に配置した就職支援エリアコーディネーターがインターンシップの受入先を開拓し、受入先の情報を県下の高校に提供する。全ての県立高校においてインターンシップを実施する。	・コーディネーター訪問企業数(延べ) 3,540社 ・企業見学会参加者数 生徒 3,336人、保護者 52人 合計 3,388人 ・県立高校就職決定者の県内比率 57.9%(前年比0.5ポイント上昇)	25,924	高校教育課
		継続	30,282	
⑦	共に支え合う社会の一員として、男女が協力して家庭を築き、家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる教育を推進する。	—	*	スポーツ振興課
		—	*	
⑧ かけがえのない「いのち」を大切に する教育推進事業	これまで各学校や関係機関が行ってきた「いのち」を大切にする教育について、相互の連携を更に深め、活動の広がりがある取組として拡充し、自分や他者のかけがえのない「いのち」を大切に する子どもの育成を図る。	・ピア・サポート推進校におけるピア・サポート活動の実践 公立小 中学校7校、指導者養成のための派遣研修2名 ・「いのちの教育週間」実践事例(リーフレット)の作成、配付10,000冊	2,250	人権同和教育課
		・ピア・サポート推進校におけるピア・サポート活動の実践 公立小 中学校7校、指導者養成のための派遣研修2名 ・「いのちの教育週間」実践事例(リーフレット)の作成、配付10,000冊	2,257	
⑨ 少年サポートセンター運営 事業費	児童が使用する携帯電話のフィルタリング普及、インターネット、携帯電話の使用に絡む児童被害防止のための広報・啓発を推進するとともに、インターネット上の違法・有害情報の取締り、削除要請など、サイバー空間の環境浄化を推進する。	携帯電話使用時の児童被害防止 広報用チラシの作成 25,000枚 実績額 70,200円	81	警察本部 少年課
		携帯電話使用時の児童被害防止 広報用チラシの作成 25,000枚	81	

施策の基本的方向(16) 男女共同参画を推進する学習機会の充実			
① 男女共同参画センター管理 運営委託費 (再掲)	上記のとおり(3)①	(30,491)	生活・協働・男女参画課
		(31,056)	
② 啓発資料整備事業 (再掲)	上記のとおり(13)②	(1,577)	生活・協働・男女参画課
		(1,601)	
③ 集中啓発事業(再掲)	上記のとおり(12)②	(8,720)	人権同和对策課
		(8,794)	
④ 多様性を尊重する社会づく り人権啓発研修推進事業 (再掲) (～H30人権啓発研修実践支 援強化事業)	上記のとおり(13)⑤	(4,933)	人権同和对策課
		(5,151)	
⑤ 調査研究・相談事業(再 掲)	上記のとおり(13)⑦	(6,702)	人権同和对策課
		(4,479)	
⑥ 生涯学習ホームページ「み やざき学び応援ネット」 (再掲)	上記のとおり(3)⑤	(2,283)	生涯学習課
		(2,131)	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

基本目標3 男女の人権が尊重される安全・安心な暮らしの実現

(令和元年9月末現在)

重点分野7 女性に対するあらゆる暴力の根絶				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(17) 女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた環境づくり</b>				
① 男女共同参画センター管理 運営委託費 (再掲)	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
② 啓発資料整備事業 (再掲)	上記のとおり(13)②		(1,577)	生活・協働・男女参画課
			(1,601)	
③安全で安心なまちづくり アドバイザー派遣事業	保育所、学校、自治会等の要請を受け、防犯訓練(不審者侵入対策)や地域安全活動の具体的な取組方法、女性・子供に対する暴力(DV、性犯罪、児童虐待等)の未然防止について専門的なノウハウを持つアドバイザーを派遣する。	・3NPO法人に委託 ・70回/年派遣	1,869	生活・協働・男女参画課
		・3NPO法人に委託 ・70回/年派遣	1,904	
④ 被害者への援助措置	希望者に対する「防犯機材」の貸出	○ストーカー・DV事案の対処状況 (平成30年) ・ストーカー事案相談等件数 387件 ・DV事案相談等件数 719件 ○捜査用カメラの設置状況 ・ストーカー事案 18件 ・DV事案 1件	*	警察本部 生活安全企画課
		○防犯機材を適宜活用し、被害者等の安全確保、被害の未然防止・拡大防止を図る。	*	
⑤ 「犯罪から女性や子供等弱者を守る」広報事業	女性や子どもを犯罪から守るため、防犯ボランティア団体によるパトロール活動等を支援し、防犯講話等の広報活動を実施する。	○広報啓発事業 ・パトカーティッシュ 1,000個 (街頭キャンペーンにおいて配布) ・子ども保護対策のぼり旗 160枚 ポール 60本 (各警察署に配布)	190	警察本部 生活安全企画課
		○若者ボランティア活動への支援事業 ・パトロール用反射ベスト 30個 (R1.11予定)	54	
⑥ 相談による指導・助言等の 防犯対策の強化	警察本部及び各警察署における適切な相談受付	○ストーカー・DV事案の対処状況 (平成30年) ・ストーカー事案相談等件数 387件 ・DV事案相談等件数 719件 ○DV事案対応状況 ・保護命令件数 53件 ・被害者等への防犯指導 719件 ○ストーカー警告等状況 ・警告 101件 ・禁止命令 29件 ・被害者等への防犯指導等 387件 ○検挙件数 ・ストーカー事案 44件 ・DV事案 107件	*	警察本部 生活安全企画課
		○幅広い相談受理、迅速・的確な対処により、被害者等の安全確保、被害の未然防止・拡大防止を図る	*	
<b>施策の基本的方向(18) 配偶者等からの暴力防止及び被害者の保護・支援体制の充実</b>				
① 男女共同参画センター管理 運営委託費 (再掲)	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
② 啓発資料整備事業 (再掲)	上記のとおり(13)②		(1,577)	生活・協働・男女参画課
			(1,601)	

③ 女性保護事業費	家庭関係の破綻や生活の困窮等正常な社会生活を営む上で困難な問題に直面している女性の相談に応じ、適切な助言指導を行うとともに、保護が必要な場合は施設で自立のための指導援助を行う。	・女性相談所相談受付状況 相談件数合計1,665件 (うち夫等の暴力541件) ※女性相談所 宮崎市霧島1-1-2 TEL 0985-22-3858 ※女性保護施設(県立きりしま寮)	27,448	こども家庭課
		継続	28,488	
④ 配偶者暴力相談支援センター運営事業(女性保護事業費の一部)	女性相談所において、配偶者暴力防止法に規定された配偶者暴力相談支援センターとしての機能を果たすことにより、配偶者からの暴力被害者の指導、支援を行う。 ①相談体制の強化 ・女性相談員の配置(4名) ・電話相談員の配置(2名) ・DV被害者自立支援員の配置(1名) ・精神科嘱託医・カウンセラーの配置(各1名) ②関係機関との連携強化 ・DV被害者保護支援ネットワーク会議の設置 ③各市町村における、DV相談窓口の明確化や市町村・県出先機関職員への研修の実施、市町村DV対策基本計画策定の促進など、地域の実情に応じたDV対策への取組を支援する。	DV被害者支援関係機関等と意見交換、事例検討等を実施 ・全体会1回、・地区別会議3回 ・参加者数計150名	13,974	こども家庭課
			継続	
⑤	県営住宅の入居抽選にあたって、居住の安定を図る必要があるDV被害者世帯に対して、一般世帯より当選倍率を優遇する優先的選考を実施する。	—	*	建築住宅課
		—	*	
⑥ DV被害者等保護対策事業	DV事案やストーカー事案等の被害者の居宅等に、夜間でも監視・録画可能な赤外線カメラ付きの「録画警戒システム」を設置し、同種事案の発生を防止するとともに被害者の精神的負担を軽減し、保護対策の充実を図る。	○ストーカー・DV事案の対処状況(平成30年) ・ストーカー事案相談等件数 387件 ・DV事案相談等件数 719件 ○捜査用カメラの設置状況 ・ストーカー事案 18件 ・DV事案 1件 ○被害者等の一時的避難 ・ストーカー事案 4件 ・DV事案 27件 ○DV事案対応状況 ・保護命令件数 53件 ・被害者等への防犯指導 719件 ○検挙件数 ・ストーカー事案 44件 ・DV事案 107件 ○ストーカー警告等状況 ・警告 101件 ・禁止命令 29件 ・被害者等への防犯指導等 387件	*	警察本部 生活安全企画課
		○幅広い相談受理、防犯機材を活用するなどした迅速・的確な対処により、被害者等の安全確保、被害の未然防止・拡大防止を図る。	*	
<b>施策の基本的方向(19) セクシュアルハラスメント、性犯罪等対策の推進</b>				
① 性暴力被害者支援センター設置事業	性暴力被害者支援センター「さぼーとねっと宮崎」において、性暴力被害者が被害直後からの総合的支援を可能な限り1か所で受けられるようにすることにより、心身の負担を軽減し、その回復を図るとともに、警察への届出を促進し、被害の潜在化を防止する。	性暴力被害者支援センター「さぼーとねっと宮崎」を28年7月1日開設 ・相談電話 0985-38-8300 ・月曜日から金曜日 10:00~16:00(祝日、年末年始を除く) ・電話・面接相談 86件 ・カウンセリング 5件	6,090	生活・協働・男女参画課
		継続	6,114	
② 男女共同参画センター管理運営委託費(再掲)	上記のとおり(3)①		(30,491)	生活・協働・男女参画課
			(31,056)	
③	県職員に対するセクシュアルハラスメント防止のため、相談員(所属長等、連絡調整課課長補佐、人事課職員)を配置するとともに外部受付窓口(弁護士)を設置して迅速かつ適切な対応を図るほか、研修・会議等を通じて職員への周知や意識啓発を図る。	・相談窓口等の設置 相談件数 1件 ・ハラスメントに関する研修会の実施 計29回(1,173名)	259	人事課
		・相談窓口等の設置 相談件数 0件 ・ハラスメントに関する研修会の実施 ~現在実施中	264	



④	宮崎労働局と連携し、事業所等でセクシュアルハラスメント防止対策が促進されるよう啓発に努める。	厚生労働省作成の対策マニュアルを関係機関へ配布	*	雇用労働政策課
		継続	*	
⑤ 学校におけるコンプライアンス（セクハラ含む）の推進	学校におけるセクシュアルハラスメント防止に向けた研修会等の実施を推進します。また、教職員によるセクシュアルハラスメント防止に向けた研修会の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校における取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が年2回（8月、2月）の定期点検を実施</li> <li>・全学校が一斉に服務規律強化に取り組む月間を年2回（7月、11月）設定</li> <li>・県教委が配付した校内研修資料を活用し、参加型の研修を取り入れるなど、研修内容や方法を工夫して校内研修を実施</li> </ul> </li> <li>○ 県教育委員会における取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 県立学校長対象（1回）</li> <li>② 県立学校副校長・教頭対象（1回実施）</li> <li>③ 県立学校事務長対象（1回実施）</li> <li>④ 事務主幹研修（2回実施）</li> <li>⑤ 県立学校への訪問研修（24校で実施）</li> <li>⑥ 市町村立学校への訪問研修（103校で実施）</li> </ul> </li> </ul>	*	教職員課
⑥ 犯罪被害者支援推進事業	被害者の精神的・経済的負担の回復・軽減を図るための施策、被害者の安全確保のための施策等被害者の視点に立った各種施策を推進するとともに、関係機関・団体との連携を強化し、官民一体となって犯罪被害者等の支援を行う。 特に女性の被害者等に対しては、女性警察官による事情聴取・付添など、よりきめ細かな支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神的負担の軽減等に関する施策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「被害者の手引」や「リーフレット」等による情報提供</li> <li>・性犯罪相談窓口などによる各種相談の適正な受理</li> <li>・指定被害者支援要員による事件直後の被害者等に対する説明・付添等の各種支援</li> <li>・被害者を対象とした警察通報専用携帯電話の貸与制度</li> <li>・性犯罪事件など女性被害の犯罪捜査を担当する特別指定捜査員（女性警察官）の配置</li> </ul> </li> <li>○ 経済的負担の軽減等に関する施策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体犯被害者の初診料・診断書・死体検案書料の一部公費負担制度</li> <li>・性犯罪被害者の初診料・診断書料・性感染症検査費用・緊急避妊費用の一部公費負担制度</li> <li>・一時居住場所確保に要する経費の公費負担制度</li> <li>・司法解剖後の遺体搬送に係る経費の公費負担制度</li> </ul> </li> <li>○ 関係機関・団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県犯罪被害者等支援連絡協議会及び警察署単位の犯罪被害者等支援連絡協議会との連携による情報交換や広報啓発活動</li> <li>・宮崎県弁護士会及び公益社団法人みやざき被害者支援センターとの連携による被害者支援活動</li> </ul> </li> </ul>	*	警察本部警務課 犯罪被害者支援室
		犯罪被害者等の精神的・経済的負担の軽減等に関する施策を推進する。 また関係機関・団体と連携を図るため、被害者支援の必要性を理解してもらうため、資質の向上に努める。	*	

⑦ 犯罪被害者援助団体への業務委託事業	平成17年11月に県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受け、平成22年11月には宮崎県知事から「公益社団法人」に認定された「公益社団法人みやざき被害者支援センター」に、相談・カウンセリング事業及び広報・啓発活動事業等の一部を業務委託することにより、被害者等のニーズに対応したきめ細かな支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談・カウンセリング事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門相談員による電話・面接相談等 419回</li> <li>・臨床心理士等によるカウンセリング 37回</li> </ul> </li> <li>○直接支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判関連支援 58回</li> <li>・検察庁関連支援 14回</li> <li>・警察関連支援 3回</li> <li>・自助グループ支援 8回</li> <li>・その他（送迎等） 1回</li> </ul> </li> <li>○被害者支援に関する理解の増進等に係る事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター 400枚、</li> <li>・リーフレット 8,000部、</li> <li>・ポケットティッシュ 10,000個</li> <li>・クリアファイル 5,000枚</li> <li>・遺族の手記（あおぞら） 5,000冊</li> <li>・センターニュース（2回発行） 3,000冊</li> <li>・犯罪被害者支援フォーラム等の開催</li> <li>・中学校・高校における「命の大切さを学ぶ教室」の開催</li> </ul> </li> <li>○支援活動員等の技能取得研修事業 支援活動員等の人材育成のための講習の実施等</li> </ul>	7.081	警察本部警務課 犯罪被害者支援室
		犯罪被害者やその家族に対し、ニーズに応じて効果的な支援を実施する。 また、被害者等の現状等を理解してもらうため、広報啓発活動を実施し、理解の増進に努める。	7.200	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

基本目標3 男女の人権が尊重される安全・安心な暮らしの実現

(令和元年9月末現在)

重点分野8 生涯を通じた女性の健康支援				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(20) 性と妊娠・出産等に関する健康と権利に対する支援</b>				
① 健やか妊娠サポート事業	女性がライフステージに応じた的確な自己管理を行うことができるよう健康教育を実施するとともに、女性専門相談において女性特有の健康問題に関する相談に応じる。 また、女性特有の疾患に対する体制整備を推進し、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図る。 望ましい妊娠・出産に有効な施策の推進を図るとともに、予期しない妊娠の防止に関する研修及び普及啓発を行う。 不妊専門相談センターにおいて不妊に悩む夫婦に対して、心のケア、不妊治療を伴う処置、検査、予後等について適切な情報提供を行う。	・女性専門相談 705件 ・医療機関での避妊指導の実施、パンフレットの作成、健康教育 ・不妊専門相談 121件 ・健やか妊娠推進のための研修会 3回 ・妊娠総合相談 58件	12,565	健康増進課
		継続	12,197	
② 不妊治療費等助成事業	子どもを安心して産み、健やかに育てる環境づくりを推進するため、不妊治療等を受ける夫婦に対し経済的支援を行う。	・特定不妊治療費助成金 給付件数 485件 ・男性不妊治療費助成事業 給付件数 10件 ・不育症治療費助成事業 給付件数 7件	97,679	健康増進課
		継続	97,673	
③ 安心してお産のできる体制推進事業	地域分散型の周産期医療体制を支える関係者の研修会を実施するとともに、相互のネットワークを強化し、周産期母子医療センターの運営を支援することにより、安心してお産ができる体制の一層の推進を図る。	・周産期ネットワーク強化事業の実施 ・周産期保健医療体制充実のための研修会 ・地域周産期母子医療センター運営事業 ・周産期医療協議会 2回	58,640	健康増進課
		継続	157,447	
④ 市町村子育て世代包括支援センター設置支援事業	妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制を構築する。	市町村子育て世代包括支援センターを設置する市町村に対し事業費の一部を補助(宮崎市、小林市、日向市、綾町、高千穂町)	11,921	健康増進課
		継続(延岡市、串間市が追加)	17,334	
⑤ 健やかな心と体を育む健康教育推進事業	児童生徒が性や妊娠・出産を含む個々の健康課題に、生涯を通じて適切に対応できるように、専門医による講話や相談を実施する。	○学校への専門医派遣 ・県内小中学校及び県立学校に産婦人科医・精神科医・整形外科医を派遣(40校へ派遣) ・児童生徒、教職員、保護者に対する啓発や相談活動を実施 ○専門医による性に関する相談 ・児童生徒等からの電話・メール等による相談に対し産婦人科医又は泌尿器科医が対応(相談件数:62件)	2,331	スポーツ振興課
		○派遣校を20校にして平成30年度と同様に実施予定	1,708	
<b>施策の基本的方向(21) 生涯を通じた女性の健康の保持増進対策の推進</b>				
① 健やか妊娠サポート事業	思いがけない妊娠や人工妊娠中絶の減少のため、助産師や大学生が性に対する正しい知識や命の大切さを伝え、主体的な行動変容を促すため、思春期教育に取り組む。	・ピアカウンセリング講座 12校、934人 ・健やか妊娠のための健康教育 61校 6,193人	20-① に含む	健康増進課
		・ピアカウンセリング講座 ・健やか妊娠のための健康教育	20-① に含む	
② 宮崎県母子保健運営協議会	地域における母子保健業務の総合的・効果的な実施及び母子保健対策の今後のあり方等について協議し、地域母子保健の向上を図る。	宮崎県母子保健運営協議会 1回	110	健康増進課
		継続	58	
③ 母子保健の研修及び指導	母子保健に関する研修への参加及び研修会等の実施により、母子保健関係者の資質の向上を図る。	・妊娠出産包括支援事業研修会 1回 ・専門研修派遣	1,927	健康増進課
		継続	1,942	

④ 健康づくり推進センター運営	健康づくりの専門的・技術的中核施設として、県民の健康づくりに関する研修、人材の育成、情報の収集及び提供、調査研究等を行う。	・宮崎県地域健康推進研究会 ・市町村健康増進計画の評価支援 ・ピンクリボン活動みやざき（乳がん検診の啓発）	58,253	健康増進課
		継続	66,720	
<b>施策の基本的方向(22) 女性の健康に影響を及ぼす問題についての対策の推進</b>				
① 薬物乱用防止推進事業	覚せい剤・シンナー等の薬物乱用についての相談窓口を県保健所に設置し、相談指導を行うとともに薬物乱用防止指導員を民間10団体の305名に依頼し、薬物乱用防止について啓発活動を展開する。	・薬物乱用防止教室 85回 ・ラジオ・テレビ放送及び広告等による啓発4回	3,365	医療業務課
		・薬物乱用防止教室 ・ラジオ・テレビ放送及び広告等による啓発	3,375	
② 総合的ながん対策推進事業の一部	女性特有のがんの予防と早期発見のため、がんに関する正しい知識の普及啓発やがん検診の受診率向上対策に取り組むほか、相談支援体制の充実など総合的ながん対策の推進を図る。	・テレビの活用、ポスター配布等によるがん検診受診呼びかけ ・県立宮崎病院におけるがんサロン（ふらっとカフェ）の運営委託	1,709	健康増進課
		継続	1,726	
③	ピンクリボン活動による普及啓発を行う。	街頭バナー掲示、県庁ライトアップ、各種イベント時のグッズ配布・販売等	*	健康増進課
		継続	*	
④ みやざきレッドリボン事業	エイズ感染者の人権に十分配慮し、エイズに対する正しい知識の普及啓発を推進し、県民のエイズ感染防止を図る。	・啓発CM作成し、テレビ・街頭ビジョンで放映 ・ポスターを作成し、企業・団体等に掲示を依頼 ・WEB広告を用いた啓発 ・イベントでの啓発（パネル掲示、広告カード付きポケットティッシュ配布） ・リーフレットを作成し、ターゲット（MSM層及び検査受診者など）を絞った配布等	5,322	健康増進課 感染症対策室
		継続	4,870	
⑤ 特定感染症対策事業	保健所で実施しているエイズ相談・検査に加え、性器クラミジア、淋菌、梅毒、B型肝炎、C型肝炎、HTLV-1についても相談及び検査を匿名・無料で実施することで、エイズやその他の特定感染症の発生予防及びまん延防止を図る。	検査件数1,780件 相談件数3,396件	3,564	健康増進課 感染症対策室
		継続	3,290	
⑥ 薬物乱用対策の強化	薬物乱用者の取締りや薬物の供給源に対する取締り	○覚せい剤事犯の検挙状況 ・検挙人員 29名（女性4名） ・年齢別 20代:7名、30代:3名 40代:8名、50代:5名 60歳以上:6名 ・再犯者 19名 ○大麻事犯の検挙状況 ・検挙人員 30名（女性0名） ・年齢別 20代:5名、30代:21名 40代:4名 ・再犯者 5名 ○麻薬等 ・検挙人員 1名（女性0名）	*	警察本部 組織犯罪対策課
		県警独自の捜査に加え、関係官庁とも連携を図りながら薬物事犯の摘発に努めていく。	*	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

基本目標3 男女の人権が尊重される安全・安心な暮らしの実現

(令和元年9月末現在)

重点分野9 困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(23) 貧困などの生活上の困難に直面する女性等への支援</b>				
① 「子どもたちの夢・ 挑戦応援事業」	地域を基盤とした子どもの貧困対策会議の開催や、中高生の進学・就職に関する支援制度などをとりまとめた「桜さく成長応援ガイド」の作成などにより、支援の充実を図る。	①地域会議の開催 14か所 ②桜さく成長応援ガイドの配布 80,000部 ③子どもの貧困対策人材育成研修 県内3会場 受講者194人	6,546	福祉保健課
		①地域会議の開催 14か所 ②桜さく成長応援ガイドの配布 85,000部 ③子どもの貧困対策人材育成研修 県内3会場	6,651	
② ひとり親家庭等地域支援事業	母子家庭、父子家庭及び寡婦を対象として、修学や病気等で一時的に日常生活を営む上で支障が生じた場合などに「家庭生活支援員」を派遣したり、家計管理講習会や子どもの生活・学習支援を実施することにより、ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定を図る。	・ひとり親家庭等日常生活支援事業 7市町 ・家計管理・生活支援講習会等事業 2市 ・ひとり親家庭情報交換事業 1市 ・子どもの生活・学習支援事業 1市	10,215	こども家庭課
		ひとり親家庭等日常生活支援事業等の実施(令和元年10月以降に各市町村より補助金交付申請書が提出される予定)	13,813	
③ 母子父子自立支援員・母子 父子福祉協力員設置費	ひとり親家庭の父・母及び寡婦の自立に必要な情報提供及び指導、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う母子・父子自立支援員、並びに母子父子寡婦福祉資金の貸付・償還指導等に当たる母子・父子福祉協力員を設置することにより、ひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上を図る。	母子・父子自立支援員相談受付延べ件数 5,224回	13,834	こども家庭課
		母子・父子自立支援員による相談受付、母子・父子福祉協力員による貸付・償還指導等	13,869	
④ 母子等福祉強化推進事業	就業情報の提供や就業相談、就業に有益な講習会等の実施により、母子家庭の母等の就業を支援し、経済的自立を促進するとともに、母子福祉団体の育成と活動強化を図る。	・巡回就業相談 7地区 ・就業支援講習会 3箇所	15,290	こども家庭課
		継続	15,432	
⑤ひとり親家庭医療費助成 事業	ひとり親家庭の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と福祉の向上を図る。	107,659件	293,030	こども家庭課
		継続	273,410	
⑥ 母子父子寡婦福祉資金貸付 事業	母子父子寡婦福祉資金を貸し付けることにより、ひとり親家庭及び寡婦の経済的自立並びに児童の福祉の向上を図る。	・貸付総額 88,444千円 ・貸付件数 216件	220,193	こども家庭課
		継続	346,960	
⑦ ひとり親家庭キャリアアップ 自立支援事業	主体的に職業能力開発に取り組むひとり親家庭の母・父に対して給付金等を支給することにより、就業の効果的な促進、自立の支援を図る。	・自立支援教育訓練給付金 1件 ・高等職業訓練促進給付金 18件 ・高等職業訓練修了支援給付金 4件	24,752	こども家庭課
		継続	19,948	
⑧ 離職者等再就職訓練事業 (母子家庭の母等の職業的 自立促進訓練)	就労経験がない又は就労経験に乏しい母子家庭の母等に対して、民間職業訓練機関等を活用して、職業訓練を行う。	(母子家庭の母等の職業的自立促進訓練コースのみ) 入校者 6名	5-① に含む	雇用労働政策課
		継続(入校者 5名)	5-① に含む	
⑨	県営住宅の入居抽選にあたって、居住の安定を図る必要があるひとり親世帯に対して、一般世帯より当選倍率を優遇する優先的選考を実施する。	-	*	建築住宅課
		-	*	

施策の基本的方向 (24) 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備				
① ユニバーサルデザイン普及啓発事業	平成20年3月に策定した「宮崎県ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、県総合計画に掲げる「快適で人にやさしい生活・空間づくり」を進めるため、ユニバーサルデザインの普及・啓発等を行う。	○UD講演会の実施 ・講演目的 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を見据え、本県を訪れる誰もが快適に過ごせる「おもてなし環境」の整備に向けて、観光施設やスポーツ施設等にUDに対する理解と浸透を図るための講演会を実施。 ・実施日 平成31年2月4日 ・参加人数 82名 ○UD体験型参加イベント ・実施日 平成31年2月4日 ・参加人数 26名	646 総合政策課	
		○令和2年1月下旬にUD講演会およびUD体験型参加イベントを開催予定	656	
② 多様性を尊重する社会づくり人権啓発研修推進事業(再掲) (～H30人権啓発研修実践支援強化事業)	上記のとおり(13)⑤		(4,933)	人権同和対策課
			(5,151)	
③ 人権啓発情報発信事業(～30「広げる・つなげる」人権啓発推進事業)	上記のとおり(13)⑧、(13)⑨		(3,336)	人権同和対策課
			(3,121)	
④ みんな繋がる地域福祉推進事業	今日的な福祉課題(高齢者や障がい者の社会的孤立、孤立死等)の解決を図るため、地域福祉コーディネーターを活用するとともに、地域のきずなによる支え合いを構築する事業や多様な関係機関団体と協働して実施する事業への補助や県民への普及・啓発事業を実施する。	①地域福祉コーディネーター養成 69名 ②事業実施団体への助成 6団体 ③宮崎県社会福祉大会 参加者約700名 ④社会福祉功労者等宮崎県知事表彰 246名(個人241、団体5)	9,320	福祉保健課
		①地域福祉コーディネーター養成 58名 ②事業実施団体への助成 6団体 ③宮崎県社会福祉大会 参加者約700名 ④社会福祉功労者等宮崎県知事表彰 77組	6,450	
⑤ 地域包括ケアシステム・権利擁護支援事業	地域包括ケアシステムの構築を推進するため、宮崎県高齢者総合支援センターにおける市町村や地域包括支援センターへの支援機能を充実させるとともに、意欲的な市町村に対しモデル事業を実施する。併せて、高齢者虐待の防止、成年後見制度の活用などの権利擁護についても支援を行う。	・総合相談件数 297件 ・高齢者虐待対応専門チーム派遣 37回 ・高齢者虐待相談 85件 ・成年後見制度に関する相談支援 20件	37,027	長寿介護課 医療・介護連携推進室
		継続	37,491	
⑥ 人にやさしい福祉のまちづくり事業	障がい者や高齢者をはじめ全ての人々が、住み慣れた地域で安心して快適に生活を営むとともに、様々な社会活動に積極的に参加できる社会を実現するために、「人にやさしい福祉のまちづくり」に関する啓発・広報等を行い、その推進を図る。	・啓発用デザイン画応募数 259点 ・啓発用クリアファイル 300枚、シール 600枚作成 ・条例に基づく適合証交付件数 10件	3,197	障がい福祉課
		・「人にやさしい福祉のまちづくり」の普及、啓発	3,682	
⑦ 障がい者福祉サービス従業者養成研修事業	相談支援専門員及びサービス管理責任者等を継続して養成することにより、障がい者の自立支援体制の充実及び障がい福祉サービスの安定供給を図る。	・相談支援専門員初任者研修受講者 156人 ・サービス管理責任者等研修受講者 398人	3,084	障がい福祉課
		・相談支援専門員、サービス管理責任者等養成研修の実施	4,506	
⑧ 障がい福祉サービス事業所施設整備事業	障がい者の地域生活への移行を促進するため、地域での生活の場として大きな役割を担うグループホームの充実を図る。	・グループホーム新設:6件	51,062	障がい福祉課
		・障がい者の地域生活への移行促進するためグループホームの新築等に係る経費の一部を補助	48,000	
⑨ 障がい者雇用理解促進事業	企業の障がい者雇用に対する理解を深めるとともに、障がい者の一般就労に対する意欲の向上を図ることにより、障がい者の雇用促進を図る。	・「ふれあい合同面接会」を宮崎・都城・延岡地区で開催 ・企業を対象とした雇用支援セミナーを実施 企業等142社参加	951	障がい福祉課
		・「ふれあい合同面接会」の開催 ・企業を対象とした雇用支援セミナーの実施等	2,174	
⑩ 障がい者就業・生活支援センター事業	県内各障がい保健福祉圏域に「障害者就業・生活支援センター」又は「障がい者雇用コーディネーター」を設置し、障がい者一人ひとりのニーズに応じた雇用に関する相談、休職、職場定着等のきめ細やかな支援を行う。	登録者数 4,458人 就職件数 421件	42,917	障がい福祉課
		・センター窓口での相談対応、就職に向けての準備支援、職場開拓、就職後の定着支援、生活支援等を実施	43,371	

⑪ 障がい者委託訓練事業	就職を希望する障がい者に対し、民間教育訓練機関等を活用した多様な委託訓練を実施し、就職に必要な知識・技能の習得を図ることにより、障がい者の就職促進に資することを目的とする。	受講者数 24人	17,226	障がい福祉課
		・知識・技能習得訓練コース ・実践能力習得訓練コース ・eラーニングコース の3コースを実施	17,411	
⑫ 障がい者差別解消推進事業	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等を踏まえ、障がい者の活動を制限し、社会への参加を制約する障がい者を理由とする差別の解消及び社会的障壁の除去に関する取組を推進する。	○障がい者差別解消シンポジウム ・期日：平成30年9月9日(日) ・場所：宮崎市民プラザオルブライトホール ・参加者数：約300人	6,473	障がい福祉課
		・県内3地区での啓発イベントや合理的配慮に関するセミナー等を実施	6,411	
⑬ 障害者権利擁護センター運営事業	「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」等を踏まえ、障がい者虐待の防止等障がい者の権利擁護のための取組を行う。	○障害者虐待防止・権利擁護研修(H30受講者数実績) ・共通研修 651人 ・管理者コース研修 230人 ・従事者コース研修 402人 ・虐待防止センター担当職員等研修 22人	8,534	障がい福祉課
		・障害福祉サービス事業所等の管理者、従事者や市町村担当者等を対象とした研修を実施	8,569	
⑭ 高齢者雇用促進普及啓発事業、シルバー人材センター支援事業	高齢者の雇用促進を図るため、事業所等へ普及啓発を行うとともに、臨時的・短期的な就業の場を提供するシルバー人材センターに対して支援を行う。	・高齢者雇用優良企業等宮崎県知事表彰(H30.10.22開催、3社表彰) ・宮崎県シルバー人材センター連合会に対する補助金の交付	8,098	雇用労働政策課
		・宮崎県シルバー人材センター連合会に対する補助金の交付	8,099	
⑮ 生涯現役促進地域連携事業	厚生労働省の委託を受けた、みやざきシニア活躍推進協議会が、働く意欲のある高齢者が能力や経験を活かし、年齢に関わりなく働くことができる生涯現役社会を目指すため、就職面談会の開催や就業支援相談の設置等を行う。	○生涯現役ひなたサロンの開設 ・県内3箇所 相談者数：699名 ○高齢者就職面談会の実施 ・県内3箇所4回開催 ・就職決定者数 50名 ○みやざきシニア人材バンクを活用したマッチング ・マッチング数：88件	*	雇用労働政策課
		継続	*	
⑯ 多文化共生地域づくり推進事業	全国的に外国人住民が増加している中で、言語、文化、生活習慣、価値観などの違いを認めながら、県民と外国人住民が、共に地域の一員として協力しあう「多文化共生」の地域づくりを推進するため、県民に対する異文化理解の啓発や外国人住民支援等を行う。	○異文化理解の啓発 ・「国際プラザニュース」発行 年12回、毎月4,300部/回 ・多文化共生アドバイザー派遣 派遣回数14回、受講者数802人 等 ○外国人住民支援 ・生活相談員・弁護士による相談5件 ・日本語講座の実施 実施回数75回、受講者数383人 ・外国人のための防災講座 実施回数2回、受講者数28人 等	28,673	オールみやざき営業課
		○異文化理解の啓発 ・インターネットや広報誌等による情報提供 ・多文化共生に関する講座 ○外国人住民支援 ・外国人のための防災講座 ・外国人災害サポートボランティア養成講座	29,203	
⑰ 外国人材受入環境整備事業	外国人材の増加に対応するため、国や市町村、関係機関等と連携し、生活・就労等に関する情報提供・相談を行う一元的な相談窓口を設置するとともに、外国人住民のニーズ等を踏まえ、日本語教育体制を拡充することで、外国人材の円滑な受入れ・共生を図る。	-	-	オールみやざき営業課
		○外国人住民等相談窓口運営 ・外国人住民等からの生活・就労等に係る相談への多言語対応 ・外国人住民等への情報提供 ○地域日本語教育体制整備 ・外国人住民のための日本語教室 ・日本語学習支援者向け講座	37,066	
⑱ 宮崎県あんしん賃貸支援事業	高齢者世帯、障がい者世帯、外国人世帯、子育て世帯の入居を拒まない民間賃貸住宅等に関する情報を登録し、広く提供することで高齢者世帯等の居住の安定確保を行う。	・H30年度登録 169戸 ・県全体の累計 260戸	*	建築住宅課
		-	*	
⑲	民間の事業者等に対し、サービス付き高齢者向け住宅の登録制度の周知に努め、制度の普及を図ることにより、高齢者の居住に適した良質な賃貸住宅の供給を促進する。	・H30年度新規登録 1件(40戸) ・H30年度更新登録 5件(154戸) ・県全体の累計 30件(1,087戸) ※宮崎市登録分を含む	*	建築住宅課
		-	*	

⑬	県営住宅の入居抽選にあたって、居住の安定を図る必要がある高齢者世帯、障がい者世帯に対して、一般世帯より当選倍率を優遇する優先的選考を実施する。	—	*	建築住宅課
		—	*	

(注) 「\*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの



基本目標3 男女の人権が尊重される安全・安心な暮らしの実現

(令和元年9月末現在)

重点分野10 防災分野における男女共同参画の推進				
事業名	事業の概要	H30年度実施結果	H30年度 予算額(千円)	課(室)名
		令和元年度実施概要	令和元年度 予算額(千円)	
<b>施策の基本的方向(25) 男女共同参画の視点を反映した地域の防災力向上</b>				
① みんなのPOWERを集結!「共助の力」強化事業(30年度事業名:みんなの力で地域を守る!地域防災力向上推進事業)	自主防災組織や自治会組織等の中核となる防災リーダーや防災士の育成を行う。	・自主防災組織活動カバー率 86.8% ・防災士資格取得試験合格者 535人 (うち女性165人)	26,469	危機管理課
		地域防災リーダーの養成・能力向上及び自主防災組織の活動強化	25,662	
② 地域消防防災活動支援事業	消防団の活性化と団員確保のため、女性団員の活動に必要な資機材の整備を支援し、女性団員の加入促進とともに、各種団体との連携を推進し、地域防災体制の充実・強化を図る。	2団体に対し475千円を交付	500	消防保安課
		市町村等が行う女性消防団員の活動に要する資機材等の整備への補助	500	